

# 資 料 編



島田市役所周辺整備基本構想検討委員会 協議等の経過

区分	開催日	内容
第1回	1/22 (月)	<p><b>報告事項</b></p> <p>◆当委員会の役割、協議の進め方（スケジュール）を確認 「本庁舎が有すべき機能」及び「本庁舎の周辺において本市が保有し又は保有していた施設の機能の維持及び再生」についての基本的な考え方を検討し、市に意見を提出する。当面、6月まで毎月1回会議を開催する。委員会での検討と並行して市民ワークショップ、市民アンケートを実施する。</p> <p>◆検討対象となるエリア及び施設、これまでの検討経過を確認 本庁舎、旧市民会館、プラザおおり、第2・第3文書庫、中央小公園・中央小公園西駐車場の敷地を対象とする。旧市民会館の機能再生については、既存の3施設（おおり、夢づくり、チャリム）の今後の方向性と一体で検討する。</p> <p>◆検討に当たっての前提条件の整理 財政面の制約＝新病院、新東名IC周辺の2大プロジェクト等が並行 有利な財源確保策を見据えたスケジュール検討が必要 土地利用上の制約＝第二種住居地域における劇場整備 (出席委員13人、傍聴人3人)</p>
第2回	2/27 (火)	<p><b>報告事項</b></p> <p>◆検討に当たっての前提条件の整理 第二種住居地域における劇場整備にあたって建築基準法の許可が必要。(用途地域見直しの方法も考えられる。)</p> <p>◆民間資金等活用事業基本調査の結果（概要）を確認 市が仕様で設定した規模の施設整備、管理運営（15年間）をPFI方式で行った場合のVFMは4%程度。周辺の市有地活用についても商業ベースに乗らない</p> <p>◆市民ワークショップの開催状況を確認（第2回まで） 参加者から、「庁舎内に民間機能を入れてテナント料を得ながら複合的なサービスを提供できるような施設としたい」などの提案があった。</p> <p><b>協議事項</b></p> <p>◆市民アンケートの実施について 事務局においてアンケート実施に係る新年度予算を確保した。</p> <p>◆対象地のこれまでの利用状況について確認 対象地の大正期以降の歴史的推移について確認した。 (出席委員12人、傍聴人9人)</p>
第3回	3/26 (月)	<p><b>報告事項</b></p> <p>◆検討の前提条件について 市役所周辺整備事業に際して新たに周辺の土地（民地）を取得する考えはないことを確認した。</p> <p>◆市役所周辺整備事業の財政への影響の度合いについて 市の大規模プロジェクトが、計画ベースの時期、事業費（起債借入）により進んだ場合の公債費負担比率及び起債残高の推移が標準財政規模に占める割合を示し、家計調査等から引用した家計ベースと比較して説明した。</p> <p>◆従来型の手法とPFI手法の経済的優位性の比較について 事業発案から事業化までの期間、整備事業費と管理運営費について比較し、双方のメリット、デメリットを確認した。</p> <p><b>協議事項</b></p> <p>◆市民アンケートの実施内容について 事務局（案）を細部まで確認し、発送・回収の方法も協議した。特に文化施設の整備について市民の意見の傾向を把握できる設問とすることを確認した。 (出席委員11人、傍聴人7人)</p>

区分	開催日	内容
第4回	4/23 (月)	<p><b>報告事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事に対する補足説明について 市役所周辺整備事業の財政への影響の度合いについて、市債残高と公債費負担比率の推移に限って説明し、計画ベースの全てを短期間に集中して実施した場合、公債費負担が危険ゾーンに達する恐れがあることを念頭においた計画とすべきことを確認した。</li> <li>・ ワークショップの結果について 運営に関わった市民ファシリテーター2名の出席を得て、意見の集約結果、運営上の工夫、意見を引き出すために留意した事項について報告を受けた。</li> </ul> <p><b>協議事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化施設の管理運営及び利用の実態と今後の方向性について 既存3施設の財務（市側、指定管理者側双方の収支、建物の減価償却の割合）、品質（施設の不具合の状況、改修費用の見込み）、供給（ホール、ホール以外の利用状況）を確認した。 ※論点整理のため既存文化施設の存続・活用方針、新施設の整備の有無について委員の意見を確認するため「論点整理シート」を作成することとした。 (出席委員11人、傍聴人16人)</li> </ul>
現地視察	5/13 (日)	<p>委員10名が「市役所本庁舎」「プラザおおるり」「夢づくり会館」「チャリム21」の4施設を視察した。</p> <p>「夢づくり」「チャリム」は舞台と客席を備えた施設ではあるが、舞台構造・装置・楽屋等が不十分で、有料公演ができるレベルの施設ではない。3館では「おおるり」の評価が高いが、劇場専用施設ではない。他の2館に比べて舞台は広く、奥行き、袖もあるが、楽屋設備も含めて劇場としての機能は不十分で、改修による拡張性はない。</p> <p>本庁舎は、玄関周辺、地下、1階・2階の一部を視察。建物、設備の老朽化の状況、執務室内の狭隘さを確認した。</p>
第5回	5/18 (金)	<p><b>報告事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民アンケートの中間報告について アンケートの集計状況は5月15日到着分で1,307票、回収率は43.6%。 庁舎の配置について、「分散した方が良い」という意見が4割を超えた。 舞台での文化活動を行う環境について、「現在のままで特に不便さを感じない」とした回答が54.8%を占めた。 今後の文化活動の環境整備について、「市民会館に近い規模の文化施設」が367件、30.3%。「席数は少なくとも新たな施設」が124件、10.2%。「新たな施設の整備を望まない」が445件、33.7%で一番高いが、規模の大小を問わず新たなホールを望む意見が4割を占めた。</li> </ul> <p><b>協議事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化施設のあり方について 「論点整理シート」に基づき、各委員から意見を述べた。「夢づくり会館」と「チャリム21」については、文化施設（劇場）として旧市民会館や「プラザおおるり」と同列に扱うことは適当でなく、地域の多様な活動の場としての意義に着目すべきとの見解が大勢を占めた。 財政面から新たな文化施設の整備は考えにくいことや、市として文化施設の方向性を示すべきであるといったことが確認された。 (出席委員11人、傍聴人9人)</li> </ul>

区分	開催日	内容
第6回	6/4 (月)	<p><b>協議事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>庁舎のあり方について</b> 立地、建物配置、支所・行政サービスセンターの維持、本庁舎が備えるべき機能、整備に当たって考慮すべき事項について事務局案を基に協議。 事務局案を合理的とする意見があった一方で、この土地の使い方を長期的な視点で考えることや、アンケートで得られた市民の意見を踏まえ複数の選択肢を持つべきといった指摘があった。</li> <li>・<b>意見書案の検討について</b> 意見書の構成、内容について事務局から提示された案を基に協議。 文化施設に係る課題認識に関し「市民会館機能再生を考えた場合、文化振興のあり方や劇場・ホールに期待される役割の変化を踏まえ、市としての文化施策の方向性を定めた上で、「財政上の不安要素の解消」と「人材の確保」に向けた準備が必要」と記された。 市役所周辺の整備に当たってのイメージを表す「理念」について、次回会議で協議することとした。 (出席委員10人、傍聴人10人)</li> </ul>
第7回	6/25 (月)	<p><b>報告事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>中高生アンケート・来場者アンケートの結果について</b> 中高生の文化施設に対する意見として、新たな施設を希望する意見が複数見られるが、その一方で財政面への考慮を指摘する意見もあった。 中高生・来場者ともに、これからの時代の庁舎に対し賑わい創出など付加価値的な機能を期待する意見が大勢を占めた。</li> </ul> <p><b>協議事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>意見書案の検討について</b> 委員長が提示した素案を基に協議。 いくつか追加で記載すべき事項を確認し、全体的な構成については案のとおり進めることとした。</li> <li>・<b>市役所周辺整備に関する基本理念及び基本方針について</b> 「市役所周辺整備の理念」について、ファシリテーショングラフィックの手法により、委員が意見を出し合った。 各委員が出した意見は、「環境」、「市民のため」、「個性」、「多機能」、「歴史」、「にぎわい」、「安心・安全」、「世界と芸術」といった括りで整理された。 これをもとに、事務局で意見書(案)をまとめ、次回協議する。 (出席委員13人、傍聴人11人)</li> </ul>
第8回	7/9 (月)	<p><b>報告事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>職員アンケートの結果について</b> 市民に対するアンケート同様、これからの時代の庁舎は付加価値的な機能を持つべきとの意見が大勢を占めた。</li> </ul> <p><b>協議事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>意見書案の取りまとめについて</b> 前回協議内容に基づき事務局が示した意見書(案)を基に協議。 全体構成(各項目の順序等)について複数の代替案が示されたが、原案どおりの構成とし、言葉足らずの部分は加筆修正することとした。 今後策定される基本計画に引き継ぐ事項を明確にすべきとの意見があった。 理念について「人がつどい 文化がうまれ まちがつながる みんなの広場」とすることとした。 (出席委員12人、傍聴人10人)</li> </ul>